

平成 28 年度特別支援教育研究センター事業報告

1 研究開発事業

- ・教材・指導法データベース事業の推進
附属学校教育局，附属特別支援学校 5 校，人間系・障害科学域との連携研究組織の構築，教材や指導法の研究の推進
学内の関連研究組織との研究連携の推進
教材・指導法データベースの完成，一般公開（日本語版・英語版）
- ・現職教員研修プログラムの効果の検証
- ・海外の研修生が国内研修で得た知見やこれまでの国際教育協力の成果の検証，海外教育支援プログラムの改善に向けた協力
- ・「筑波大学特別支援教育研究」第 11 巻の発刊（平成 29 年 3 月）
- ・協力研究
文部科学省科学研究費基盤研究（A）（平成 25 年度～28 年度）
「グローバル・スタンダードとしての特別支援教育の創成と貢献に関する総合的研究」
研究代表：安藤 隆男

2 教員研修事業

- ・現職教員研修事業の運営
現職教員研修生 6 名
（北海道，埼玉県，千葉県，静岡県，長野県の各教育委員会からの推薦・派遣）
センター教員および局教員による講義（9 回），センター教諭による演習（15 回）
附属特別支援学校における実習，障害科学専攻等での講義聴講
- ・免許法認定公開講座の運営（第 1 欄，第 2 欄及び第 3 欄）
平成 28 年 7 月 25 日（月）～8 月 5 日（金）
筑波大学東京キャンパス文京校舎 のべ受講者数 715 名
「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害の理解」「聴覚障害の理解」
「知的障害の理解」「肢体不自由の理解」「視覚障害の指導法」
「聴覚障害の指導法」「知的障害の指導法」「肢体不自由の指導法」
「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」
- ・国際教育協力事業の受託
JICA 筑波 課題別研修「障がいのある子どものための授業づくり」
研修員 11 名（フィジー 1 名，ケニア 2 名，レソト 1 名，モロッコ 1 名，ニウエ 1 名，パラオ 1 名，ソロモン 3 名，スワジランド 1 名）
受託期間：平成 28 年 10 月 3 日～平成 29 年 3 月 10 日
本邦研修実施期間：平成 28 年 11 月 24 日（木）～12 月 16 日（金）

3 理解啓発事業

- ・センター主催セミナー
・シリーズ第 21 回 特別支援教育の伸展（6）
－教材・指導法データベース 国際貢献の可能性－
平成 28 年 12 月 3 日（土）13：00～16：30

筑波大学東京キャンパス文京校舎 337 会議室 35 名参加

第 1 部「教材とデータベースの紹介－ JICA 研修員との情報交換－」

第 2 部：総合ディスカッション

パネリスト 宮崎 善郎（筑波大学附属視覚特別支援学校教諭）

村田 敏雄（JICA 国際協力専門員）

・シリーズ第 22 回 特別支援教育の伸展（7）

－指導法の豊かさを願って：先輩からのエール－

平成 29 年 3 月 27 日（月）13：30～16：30

筑波大学東京キャンパス文京校舎 134 講義室 100 名参加

第 1 部「平成 28 年度特別支援教育研究センター事業報告」

第 2 部 講演

講師：小林 美千代（工房わかざり施設長

元 筑波大学附属大塚特別支援学校教諭）

：馬場 顕（元 筑波大学附属聾学校副校長）

・書籍の刊行（「講座 特別支援教育」第 2 版）

4 連携・コーディネート事業

〈学内〉

・附属特別支援学校間の連携研究の推進

「聴覚特別支援学校幼稚部乳幼児相談及び肢体不自由特別支援学校小学部重複学級の実践から、教育の可能性を探る」

（筑波大学附属桐が丘特別支援学校、筑波大学附属聴覚特別支援学校）

・5 附属連絡会議の開催

4 月、5 月、6 月、7 月、9 月、10 月、11 月、12 月、1 月、2 月、3 月

・教材・指導法データベース学習会の開催

5 附属連絡会議終了後に続けて同会場にて開催

〈学外〉

・国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会との連携

5 広報活動

・センターパンフレットの作成（6 月）

・SNERC 通信の発行（5 月、9 月、1 月、3 月）

・ホームページの運営および管理

6 運営及び各種委員会活動

・運営委員会の開催

・5 附属連絡会議の開催

・スタッフ会議の開催

・各種委員会等

研究推進会議

国際教育推進委員会

附属学校教育局情報環境委員会

支援教育推進委員会

普通・特別支援附属連携推進委員会

免許状更新講習「東京地区」推進委員会

附属学校教育局研修委員会

広報戦略推進委員会

附属学校将来構想検討委員会・特別支援教育の在り方WG

(学外) 国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会

「筑波大学特別支援教育研究」編集規定

第1条 筑波大学特別支援教育研究センター（以下「センター」という。）は、研究誌を発行し、筑波大学特別支援教育研究（以下「研究誌」という。）と称する。

第2条 研究誌は、原則として年1回発行する。

第3条 研究誌には、以下に該当するものを掲載することとする。

- (2) センター事業に関連する、研究論文、実践報告、及びセンター報告（セミナー報告、センター事業報告、現職研修報告、特集等）。
- (3) 特別支援教育及び関連した領域の充実に寄与すると編集委員会（第5条参照）が認めたもの。
- (4) 研究論文および実践報告は特別支援教育に関する未公刊の研究論文であることとし、別に定める研究誌執筆要綱に従って執筆する。

第4条 前条の論文等の筆頭執筆者は、以下に該当する者であることとする。

- (2) センターに籍を有する教員、附属学校教員、研修生・修了生および障害科学域と附属学校教育局教員。
- (3) 特別支援教育に関わる学校関係者、特別支援教育に関わる専門職にあるもので、編集委員会が認めた者。

第5条 研究誌の審査・編集のため、編集委員会（以下「委員会」という。）をおく。

- (2) 委員会には委員長を置き、センター長をもってあてる。
- (3) 委員長はセンター運営委員のうちから若干名の委員を指名し委員会を組織する。

第6条 編集事務を担当するために、編集幹事（若干名）を置く。

- (2) 編集幹事は、センター教員のうちから委員長が指名する。

第7条 研究誌に掲載を希望する者は、論文等を委員会に送付するものとする。

- (2) 投稿された論文等の採否は、委員会の合議によるものとする。
- (3) 委員会は、投稿された研究論文の審査について、査読を依頼する。

第8条 研究誌に掲載されたものは無断で複製あるいは転載することを禁じ、著作権はセンターに帰属するものとする。

附則：この規定は、平成18年2月1日から施行する。

附則：この規定は、平成20年3月1日から施行する。

附則：この規定は、平成22年4月1日から施行する。

附則：この規定は、平成24年4月1日から施行する。

附則：この規定は、平成27年4月1日から施行する。

附則：この規定は、平成29年4月1日から施行する。

平成 28 年度 特別支援教育研究センター運営委員会委員名簿

氏 名	職 名	適用条項
◎岡 典子	特別支援教育研究センター長	第5条第2項第1号
松本末男	附属学校教育局次長	第5条第2項第2号
柘植雅義	特別支援教育研究センター教授	第5条第2項第3号
左藤敦子	特別支援教育研究センター准教授	〃
氣仙有実子	特別支援教育研究センター教諭	〃
深江健司	特別支援教育研究センター教諭	〃
阿部 崇	特別支援教育研究センター教諭	〃
田丸秋穂	特別支援教育研究センター教諭	〃
小曾根和子	特別支援教育研究センター教諭	〃
澤田 晋	附属視覚特別支援学校長	第5条第2項第4号
原島恒夫	附属聴覚特別支援学校長	〃
(柘植雅義)	附属大塚特別支援学校長	〃
川間健之介	附属桐が丘特別支援学校長	〃
下山直人	附属久里浜特別支援学校長	〃
石井裕志	附属視覚特別支援学校副校長	第5条第2項第5号
伊藤僚幸	附属聴覚特別支援学校副校長	〃
根本文雄	附属大塚特別支援学校副校長	〃
西垣昌欣	附属桐が丘特別支援学校副校長	〃
雷坂浩之	附属久里浜特別支援学校副校長	〃
竹田一則	障害科学域代表	第5条第2項第6号
ラミチャネ・カマル	教育開発国際協力研究センター准教授	〃

・◎は委員長 ・()は再掲

平成 28 年度 5附属連絡会議構成員

附属視覚特別支援学校	小西 明子, 中村 里津子, 左振 恵子
附属聴覚特別支援学校	有友 愛子, 吉野 賢吾
附属大塚特別支援学校	田上 幸太, 森澤 亮介, 若井 広太郎
附属桐が丘特別支援学校	加藤 裕美子, 吉沢 祥子
附属久里浜特別支援学校	河場 哲史, 松館 敬太

平成 28 年度 特別支援教育研究センタースタッフ

センター長 岡 典子
 教 授 柘植 雅義
 准 教 授 左藤 敦子
 教 諭 氣仙有実子
 教 諭 深江 健司
 教 諭 阿部 崇
 教 諭 田丸 秋穂
 教 諭 小曾根和子